

「BSL-4施設整備に関する長崎大学への要請事項」への回答

平成28年11月22日

長崎大学

長崎県・長崎市が示された「BSL-4施設整備に関する長崎大学への要請事項」の各項目に対して、これまでの長崎県議会、長崎市議会、「有識者会議」、「三者連絡協議会」、「地域連絡協議会」の場等での議論を踏まえて、次のとおり回答します。

1 世界最高水準の安全性の実現

- ・ 事業実施主体として、国の監督、指導、助言のもと、設計・建設段階から、国内外の先進的な事例を取り入れて、世界最高水準の安全確保に責任を持って取り組みます。
- ・ 稼働後も、最新の情報に基づき、安全対策の充実を図ります。

2 地域との信頼関係の構築

- ・ 地域住民の方々のご疑問やご不安を真摯に受け止め、徹底した情報開示と説明により、「地域との信頼関係の構築を通じた地域との共生」に取り組んでいきます。
- ・ 特に、「地域連絡協議会」の枠組みについては、様々な情報の開示や提供と並び、地域の方々のご意見を施設設置計画に反映させる上で中核的な役割を果たすものとして、これまで同様、長崎県及び長崎市のご協力の下、その時々々の状況に応じた運営等の見直しをしながら、継続させていきます。

3 国と連携したチェック体制の構築

- ・ 施設の安全管理と合理的運営を監査するバイオセーフティオフィサーを学長の直下に独立して配置するなど、国が構築する第三者チェックの仕組みとも連携を図りながら、自らの取組みを厳しく監視します。

長崎大学としては、今回いただいた要請事項に誠心誠意しっかりと対応していくのは当然のこととして、本施設が、長崎県、長崎市の発展にも貢献し、地域の方々に誇りに感じていただけるよう全力で取り組んでいきますので、長崎県、長崎市におかれましては、引き続き、BSL-4施設整備への協力をお願いいたします。